

令和7年度 図画工作科研究主題

豊かにかかわり つながり 「わたし」が広がる造形活動

一見あって、聞きあって、「わたし」が広がる鑑賞活動一



領域「鑑賞」分科会（第1学年）

提案発表

吉野川市立学島小学校

上网 真依

提案発表の流れ

1 はじめに

- (1) 児童(第1学年)の実態
- (2) 鑑賞に関する指導事項
テーマ

2 指導の実際

- (1) 仮説
- (2) 具体的な手立て
- (3) 結果と考察

3 おわりに

- (1) 本実践の成果と課題
- (2) 本実践を振り返って



いろがみおう
(なぞのおうさま)

キャップひめ
(なぞのひめさま)



I はじめに

児童（第1学年）の実態

- 自分のもっているイメージを**のびのびと表現する**
- 互いにつくったものを**見せることが好き**
- △ 自分の作品の**面白さや楽しさ、表し方の工夫を言葉で伝える力の育成**



4月「すきなものいっぱい」



5月「ねんどとなかよし」

<各学年のB鑑賞（1）アに関する指導事項>

第1学年及び第2学年	第3学年及び第4学年	第5学年及び第6学年
身の回りの作品などを鑑賞する活動を通して、	身近にある作品などを鑑賞する活動を通して、	親しみのある作品などを鑑賞する活動を通して、
自分たちの作品や身近な材料などの <u>造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、 表し方などについて、</u>	自分たちの作品や身近な美術作品、製作の過程などの <u>造形的なよさや面白さ、表したいこと、 いろいろな表し方などについて、</u>	自分たちの作品、我が国や諸外国の親しみのある美術作品、生活の中の造形などの <u>造形的なよさや美しさ、表現の意図や特徴、 表し方の変化などについて、</u>
感じ取ったり考えたりし、	感じ取ったり考えたりし、	感じ取ったり考えたりし、
自分の見方や感じ方を広げること。	自分の見方や感じ方を広げること。	自分の見方や感じ方を深めること。

自分なりの感じ方を重視

他者と共有できるよさ

他者や社会との関わり

造形的な面白さや楽しさ、表したいこと、表し方などについて

- ・ 友達に伝えたくなる仕組みづくり
- ・ 友達の活動を見て、自分の活動に生かそうとする素地の育成

<テーマ>

「見あって、聞きあって、『わたし』が広がる鑑賞活動」

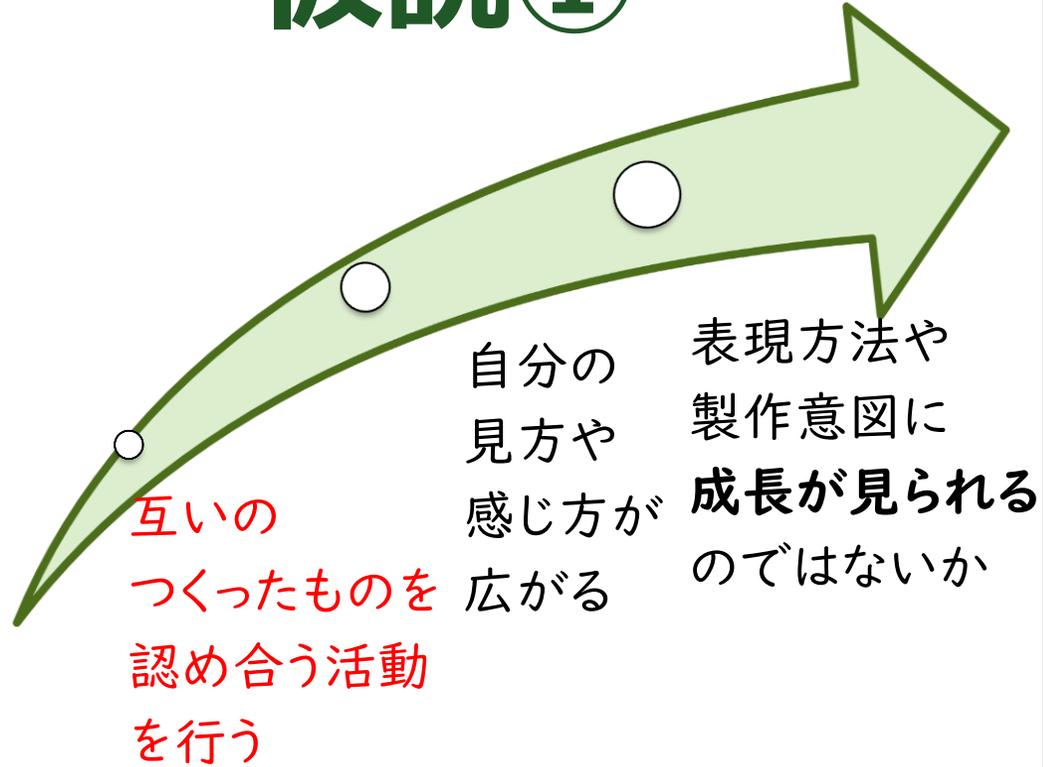
ICTの活用

教師の支援



Ⅱ 指導の実際

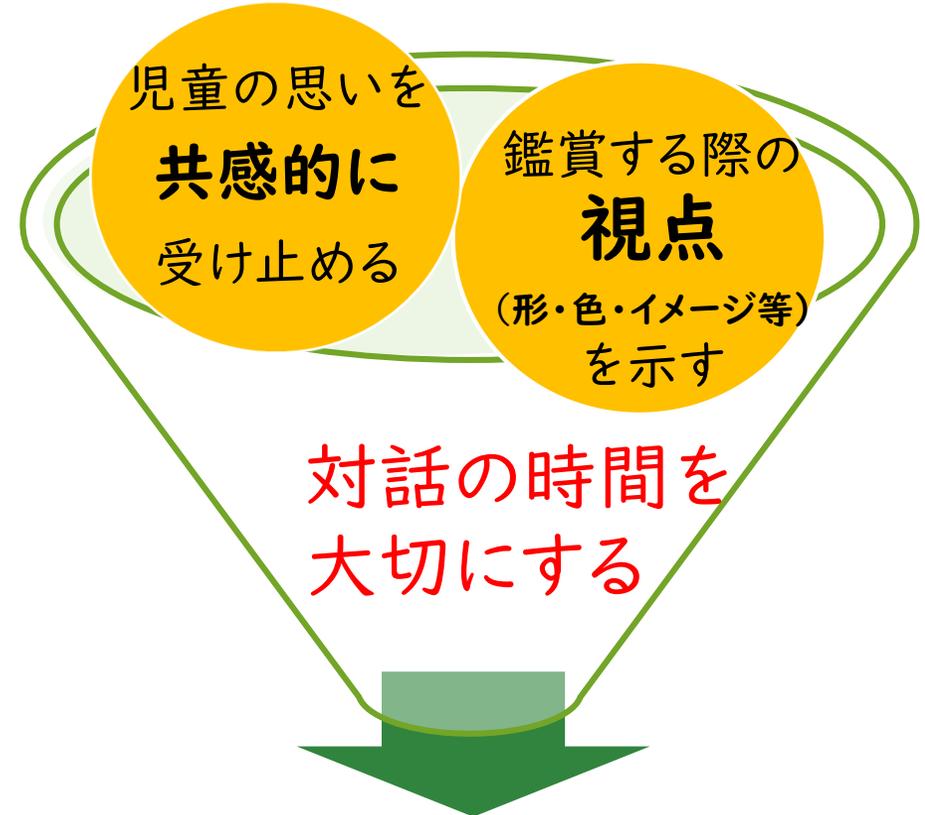
仮説①



ICTの活用



仮説②



つくったものの面白さや楽しさ、表し方の工夫を
表現しやすくなるのではないか

手立て★ICTの活用

児童の製作意欲を引き出し、思いを伝え合いたくなるICTの活用

①教師作成動画の活用

めあてや活動の流れ、
注意点等を理解させる。

紹介されることで
製作意欲を高める。



- ・ 材料と出会う
- ・ つくる楽しさを味わう

活動の場

製作変化を楽しめる
ようにする。

鑑賞の場

- ・ つくったもののよさを伝え合う
- ・ 次の製作意欲を養う



視覚的に伝え合うことができ、
次の製作イメージを広げる。

- ・ 鑑賞の力を生かす
- ・ 新たな創造を生み出す

活動の場

②学びの記録（タブレット）の活用

教師作成動画の一部



手立て★教師の支援 児童の思いを共感的に受け止め、自分の思いを話せるように促す声かけや板書

① 児童の発言を待ち、
共感的に受け止める声かけ



<造形の要素を意識する話し方>

- ・どんなことをしているの。
- ・どんなことがしたいの。
- ・～していたら～に見えたのね。
- ・～から見るとどんなふうに見えるかな。
- ・～のイメージなのね。
- ・～の形(色)を工夫したのね。
- ・こだわりポイントは？



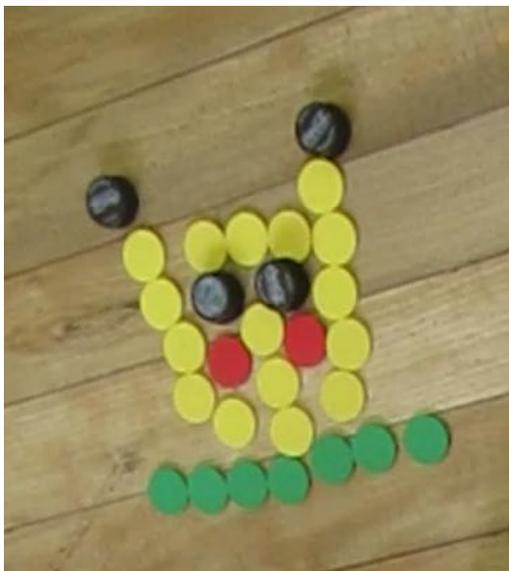
ポジティブな一言

- ・いいね!
- ・すごいね!
- ・よく考えたね!
- ・なるほど!
- ・よく工夫したね!
- ・説明が上手!

② 話し方の例示



③ 時計の図で
活動の見通しを
もたせる。



並べる



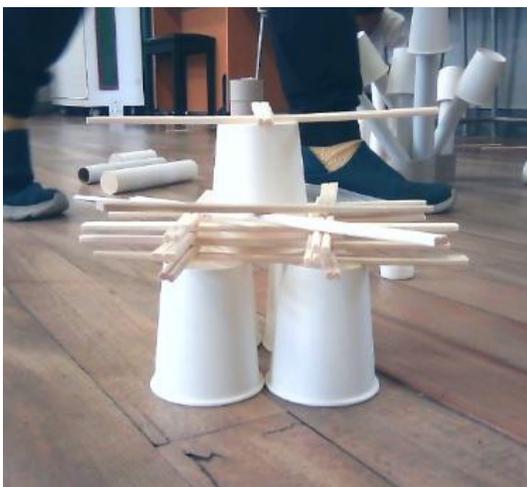
重ねる



積む



つなぐ



↑ 横から見る



↑ 上から見る



↑ 全体を見る ↑



第1時

動画



形とのかかわりの中でイメージを広げる

形や色とのかかわりの中でイメージを広げる

材料の積み方や動きによる表現の工夫

材料の組み合わせ方や動きによる表現の工夫を取り入れる

色に対する独自のイメージをもつ

教師による賞賛

見たことによる表現方法の気づき

赤=お湯、青=水、黄=中くらいのお湯

第2時

鑑賞活動を経て、積み方や組み合わせ方を工夫する

B



動画でも
取り上げられてい
た前時の水道

本時で
近くの友達が
製作していた机

B



壁にはさんで
お家と合体

C

家をつかったよ。
前のお城と違って、
3段にしたよ。

見あったこと
による
製作意図の変化

D

E

F

G

H

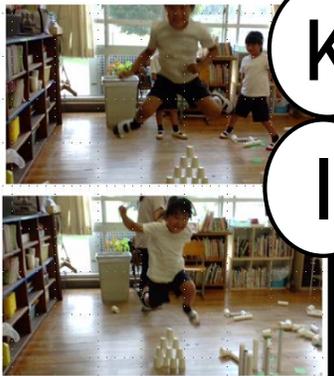
I



第2時

形とのかかわりの中で、自分のイメージを広げる

J



K

I

見あって
聞きあったことにより
イメージを広げる

動画で映っていた
アスレチックがいいなと思ったよ。

水の流れるアスレチックにしたよ。

わりばしをななめにしたかったから、
紙コップやキャップを1こだけにしたり
何かか積み上げたりしたよ。

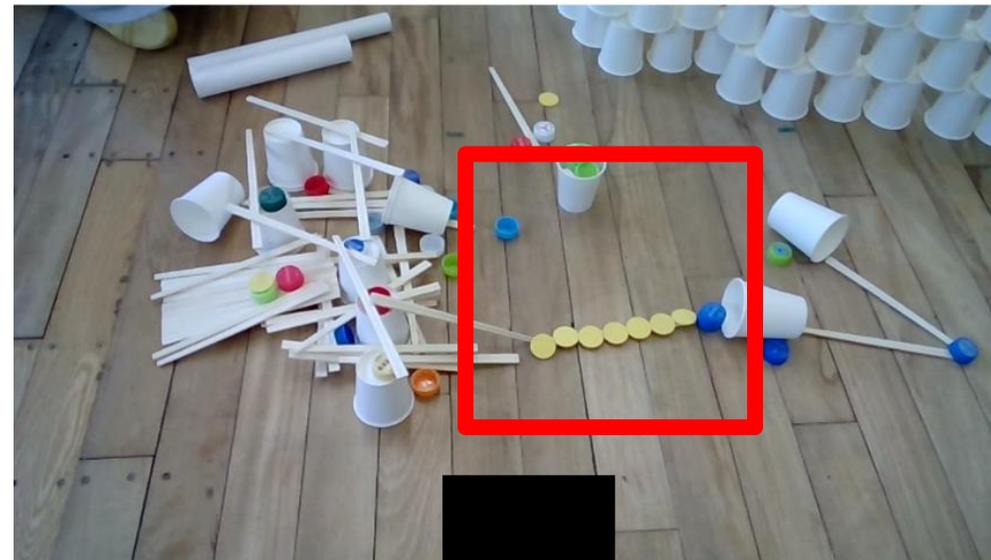
E

F

H

第2時

F児のタブレット記録



教師：たくさん写真を撮ってるね。どうして？

F児：1つ目はすべり台を見てほしかった。

2つ目は雷トラップ（黄色）

3つ目はジャンプ台ができた。

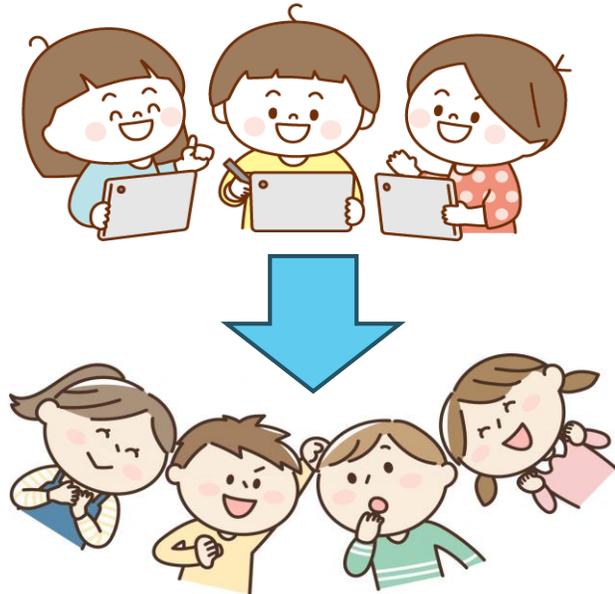
ICTの活用による
個別最適な学び

撮り方を変えて思いを表現する

ICT活用の成果と課題

○動画やタブレットを用いながら鑑賞することで、一人一人のイメージが広がり、活動意欲が高まった。

△写真では、立体作品の一面しか捉えることができず、実際の大きさも把握しにくい。



ICTの
よさと
限界

次の
学習と
つなげて

次の活動とつなげて...

王様からのプレゼントとして
透明色紙を提示

タブレットを用いずに活動



造形遊び「ならべてみつけて」

1時 形や色をよく見て、どんなことができるか考えよう。
2時 つくったもののよさを見つけ、工夫して活動しよう。



造形遊び「ならべて みつけて②」

透明色紙の形や色をよく見て、工夫して活動しよう。
(色の重なりや形の面白さを楽しむ鑑賞活動の設定)

立体「光の国のなかまたち」

1時 「いいな」と思う形や色の重なりを見つけ、光の友達をつくろう。
2時 形や色のよさを見つけ、光の友達を工夫しよう。

(製作中)

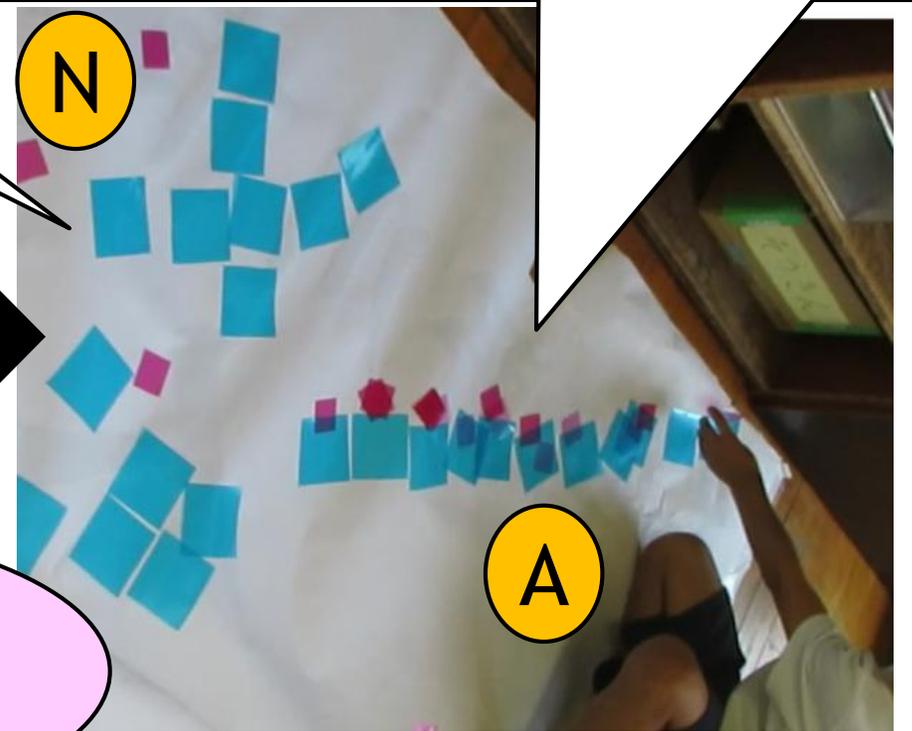
大好きなマイクラの
レーダーセキュリティと
ネザーゲートを
つくったよ。

(自由鑑賞後)

ぼくもマイクラの
ダイヤの剣や
ダイヤの家を
つくったよ。

(自由鑑賞後)

近くで並べていたらダイヤの家に
住んでいる村人に見えてきた!
体はダイヤの剣と同じ色にしたよ。



見あったこと
による
表現意図の形成

(中間鑑賞 中)

なんとなく並べてたら
ピンクの色が違うの発見。
濃いピンクと薄いピンクで
プレゼントの模様にしたよ。

(中間鑑賞 後)

ピンクの色が違うのを聞いて
ドラゴンの耳や鼻、顔は濃いピンク
角は薄いピンク
目はもっと赤く(濃く)したくて
何枚も重ねたよ。

繊細な
色彩感覚の
育成

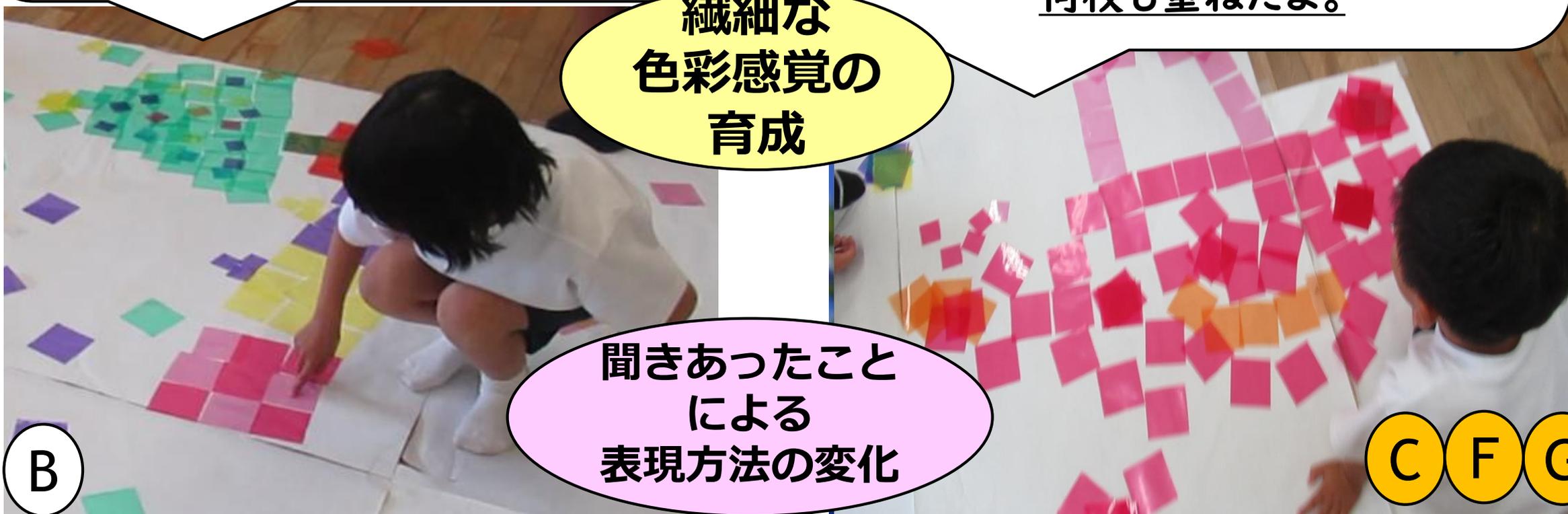
聞きあったこと
による
表現方法の変化

B

C

F

G



(製作中)

光がピカピカする
クリスマスツリー。
木のところは
だんだんにならべたよ。

ならべる

(自由鑑賞後)

友だちのツリーを見て
ぼくも挑戦。
緑の重なり方を
じぐざぐにしよう。

重ねる

見あったこと
による
製作意図の変化

J

K

E

第2次の振り返り一部

動画



イメージを伝える

透明色紙を並べて
なぞの王様や
なぞの姫を
つくったよ。

子どもの感想

王様と姫は
手をつないでにっこ
りしてる。周りもきら
きらしていいかんじ。

工夫を伝える

車を(ポケモンみたいに)
テラスタルしたよ。

進化して楽しい。
友達といっしょに
やってよかった。

動きで伝える

どんどん重ねて
オーロラの道
みたいになったよ。

まぜたらにじ色が
変わってきれい。

動きで伝える

王様がスイッチで
遊べるよ。

黒になるように
重ねるのを
がんばった。

第3次の完成作品

⑩ リボンを
背中につける。
↓
初め背中につけた
がしっかりこず、
頭につけて
ぼうしに見立てる。

虹色のぼうしと
手に持った
ケーキとコップが
お気に入りだよ。

おしゃれなうさぎちゃん。
肩にひよことうさぎの子
をのっけてるよ。

⑩ 耳を上からつける。
↓
耳飾りを上からつける。

⑩ 他のキャラクター
をつくって付ける。

大好きなキャラクターたち
耳は上からくっつけたよ。

⑩ 頭にぼうしを付ける。
↓
頭にリボンをつけて飾りにする。

見あった
ことによる
製作方法
の変化



D

I

L

第3次の完成作品

リボンのてんしちゃん。
顔は空の色のイメージ

水色まゆげとピンクのほっぺが
ふんわり色になるようにしたよ。



K



E

E児の学びの満足度と友だちとのかかわり

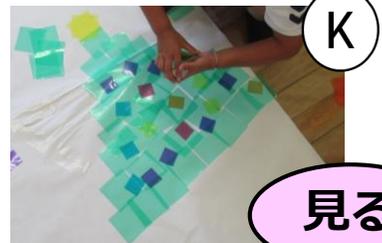


ほめられる喜び
(共感的理解)

組み合わせた
ながしそうめん

並べて積んだ
アスレチック

並べた
クリスマスツリー



見あう
聞きあう

見る

見る

自分なりの
アレンジを加える

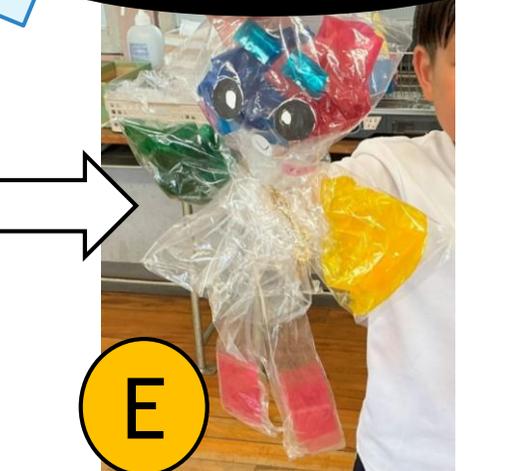
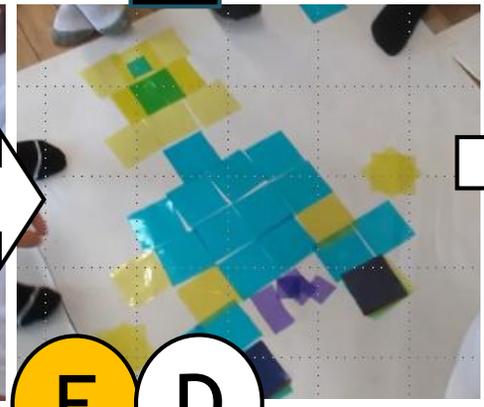
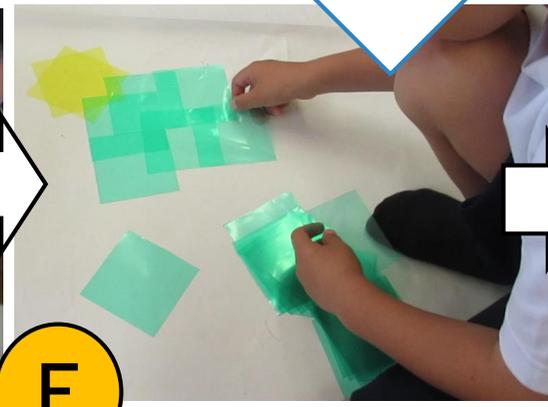
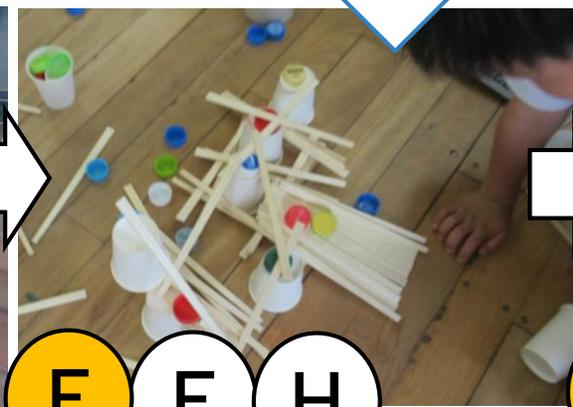
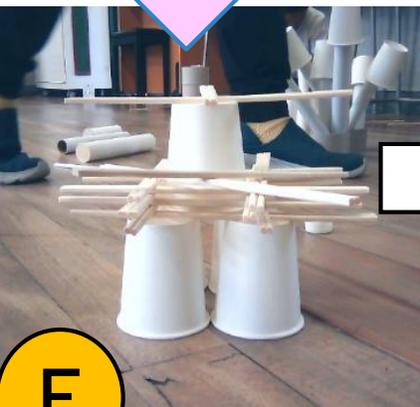
同じイメージを
別の表現法で
実現しようとする

協働学習

足をつくるため
材料を
切って貼る

ほっぺの色を
薄くするため
材料を重ねる

表現法の抽出



○ 積んだ
ヘリコプター

○ 組み合わせた
アスレチック

△ 理想の形や色の
重なりによる
イメージの追求

○ 理想のイメージ
の実現

○ 理想の形や
色の実現に
向けた工夫

成果と課題

○材料の大きさや色、
重なり方の違いに気付
き、伝えることができた。

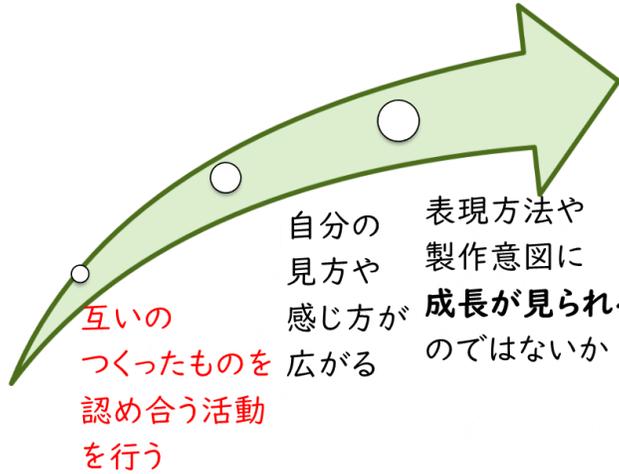


△児童一人一人が
どんな活動をしていたのか、
作品の変容を見取りにくい。



Ⅲ おわりに

仮説①



ICTの活用



成果 「個別最適な学びと協働的な学びの実現」

- 教師作成動画で、前時の活動のよさを見せることで、よさを生かそうとする児童の増加。
- つくったものや製作過程が記録できる安心感。
- 写真の撮り方で思いを表現できる。



課題 △つくったものの大きさや立体感、鑑賞する向きによる感じ方の違いを交流が十分でない。

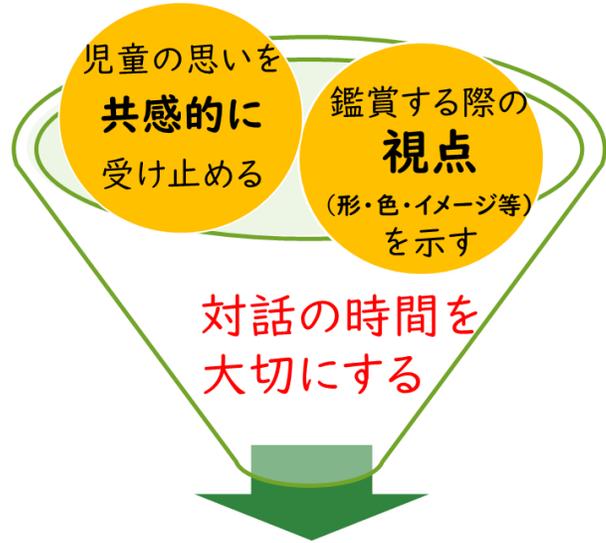


つくったものを
実際に鑑賞する
活動を大切にする

適宜タブレット
記録を活用する



仮説②



つくったものの面白さや楽しさ、表し方の工夫を表現しやすくなるのではないか

成果 「主体的・対話的な学びの実現」

- 形・色・イメージ等の言葉を用いながら、自分の思いをくわしく話せるようになった。
- 友達の活動を見て、「～みたい」「～にも見えたよ」と自分なりの見方を自然と伝えられるようになってきた。
- 製作と鑑賞の時間の切り替えがスムーズになり、「見ること・聞くこと」に集中できた。



課題

- △鑑賞時間を持つて余す児童への支援
- △発表時の言語化に向けた問い返しの時間の確保



目的意識
をもたせる

時間配分
の工夫

おわりに

本実践の成果と課題

本実践を振り返って

自分のつくったものを見てほしい！

友だちのつくったものを見るのが楽しい！

自分もやってみたい！自分だったらこうしたい！

自分なりに楽しんだことを、友だちと伝え合いたい！



対話を通して 「わたし」が広がる 図画工作科



ご清聴ありがとうございました。